



Cisco Configuration Professional Express 2.7 **アドミニストレーション ガイド**

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

Cisco Configuration Professional Express

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Copyright © 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



CONTENTS

- はじめに iii
 - 対象読者 iii
 - 目的 iii
 - 表記法 iii
 - マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート iv

CHAPTER 1

- 概要 1-1
 - 概要 1-1
 - 前提条件 1-1
 - ソフトウェア要件 1-1
 - メモリ要件 1-1
 - Cisco CP Express Admin View 1-1
 - Cisco CP Express End User View 1-2
 - サポートされるルータ 1-2
 - サポートされる HWIC カード 1-4
 - サポートされるブラウザ 1-4

CHAPTER 2

- Cisco CP Express Admin View のインストールおよびセットアップ 2-1
 - Cisco CP Express Admin View のダウンロード 2-1
 - Cisco CP Express Admin View のインストール 2-2
 - Cisco CP Express Admin View の使用 2-4
 - 前提条件 2-4
 - HTTP サーバまたはセキュア サーバのイネーブル化 2-4
 - Cisco CP Express Admin View の起動 2-5
 - 前提条件 2-5
 - 手順 2-5

CHAPTER 3

- Cisco CP Express Admin View の使用 3-1
 - Cisco CP Express ビデオへのアクセス 3-1
 - ワイヤレス インターフェイスへのアクセス 3-1

CHAPTER 4

- Cisco CP Express End User View のインストールおよびセットアップ 4-1
 - Cisco CP Express End User View のダウンロード 4-1

ロゴのカスタマイズ (オプション) 4-2

Cisco CP Express End User View のインストール 4-2

 は始める前に 4-2

 手順 4-2

Cisco CP Express End User View のワイヤレス アクセスのセットアップ 4-4

Cisco CP Express End User View の作成 4-4

Cisco CP Express End User View の削除 4-5

CHAPTER 5

Cisco CP Express Admin View のアンインストールおよびアップグレード 5-1

Cisco CP Express Admin View のアンインストール 5-1

Cisco CP Express Admin View の新バージョンへのアップグレード 5-2

失われたファイルまたは誤配置されたファイルの取得 5-2

CHAPTER 6

Cisco CP Express End User View のアンインストールおよびアップグレード 6-1

Cisco CP Express End User View のアンインストール 6-1

Cisco CP Express End User View の新バージョンへのアップグレード 6-2

失われたファイルまたは誤配置されたファイルの取得 6-2

CHAPTER 7

既知の問題と回避策 7-1



はじめに

このマニュアルでは、Cisco Configuration Professional Express (Cisco CP Express) のインストール、設定、および使用方法について説明します。

対象読者

このマニュアルは、Cisco CP Express Admin View を使用するネットワーク管理者を対象にしています。管理者は、このマニュアルを使用して Cisco CP Express End User View を設定することもできます。

目的

このマニュアルの目的は、Cisco CP Express を使用する管理者を支援することです。マニュアルは次の章で構成されています。

- 「概要」 (P.1-1)
- 「Cisco CP Express Admin View のインストールおよびセットアップ」 (P.2-1)
- 「Cisco CP Express End User View のインストールおよびセットアップ」 (P.4-1)
- 「Cisco CP Express Admin View の使用」 (P.3-1)
- 「Cisco CP Express Admin View のアンインストールおよびアップグレード」 (P.5-1)
- 「Cisco CP Express End User View のアンインストールおよびアップグレード」 (P.6-1)
- 「既知の問題と回避策」 (P.7-1)

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用します。

表記法	用途
太字	コマンド、キーワード、ユーザ入力テキストは 太字 で表示しています。
イタリック体	ドキュメント名、新規用語または強調する用語、値を指定するための引数は、 <i>イタリック体</i> フォントで示しています。

[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必ずいずれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	いずれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。
courier フォント	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、courier フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

**(注)**

「注釈」です。

**ヒント**

「問題解決に役立つ情報」です。

**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**ワンポイントアドバイス**

「時間の節約に役立つ操作」です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

**警告**

「警告」の意味です。人為ミスを予防するための注意事項が記述されています。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

概要

概要

Cisco Configuration Professional Express (Cisco CP Express) は、組み込み型のデバイス管理ツールで、ブートストラップ設定を行い、サービス統合型ルータ (ISR) をプロビジョニングすることができます。

Cisco CP Express は、次のビューをサポートします。

- Cisco CP Express Admin View : 管理者はルータの管理作業に Admin View を使用します。この作業には、WAN アップリンクの設定、仮想ローカル エリア ネットワーク (VLAN)、IP ルート、ユーザ、ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) の作成などがあります。
- Cisco CP Express End User View : 管理者は End User View を設定し、ユーザが End User View にアクセスしてスイッチ ポートを VLAN に関連付け、ワイヤレス インターフェイスの新しい Service Set Identifier (SSID) を作成できるようにする必要があります。

前提条件

ソフトウェア要件

Cisco CP Express が完全に機能するためには、Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.2(4)M 以降が必要です。

メモリ要件

Cisco CP Express Admin View

Cisco CP Express Admin View をインストールするには、ルータのフラッシュ メモリに 4 MB 以上の空き領域が必要です。この領域は、ホスト フォルダおよび解凍されたファイルに加え、圧縮された *ccpexpress27.tar* ファイルを保持するために必要です。

表 1 に、Cisco CP Express Admin View ファイルおよびこれらのファイルをサポートするために必要な最小メモリを示します。

表 1 Cisco CP Express Admin View ファイル リスト

ファイル/フォルダ名	サイズ	説明
ccpexpress27	ルータのフラッシュ上に約 1.8 MB	Cisco CP Express Admin View アプリケーションファイル
ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz	ワイヤレス アクセス ポイント (WAP) のフラッシュ上に約 100 KB	Cisco CP Express Admin View サポート ファイル

Cisco CP Express End User View

Cisco CP Express End User View をインストールするには、ルータのフラッシュ メモリに 4 MB 以上の空き領域が必要です。この領域は、ホスト フォルダおよび解凍されたファイルに加え、圧縮された *ccpexpressEndUser27.tar* ファイルを保持するために必要です。

表 2 に、Cisco CP Express End User View ファイルおよびこれらのファイルをサポートするために必要な最小メモリを示します。

表 2 Cisco CP Express End User View ファイル リスト

ファイル/フォルダ名	サイズ	説明
ccpexpressEndUser27.tar	ルータのフラッシュ上に約 1.5 MB	Cisco CP Express End User View アプリケーション ファイル
ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz	WAP のフラッシュ上に約 100 KB	Cisco CP Express End User View サポート ファイル

サポートされるルータ

表 3 に、Cisco CP Express がサポートするルータを示します。

表 3 サポートされるルータ

サポートされるルータ
Cisco 867 シリーズ
CISCO867VAE-K9
Cisco 881 シリーズ
CISCO881-K9
CISCO881-PCI-K9
CISCO881-SEC-K9
C881W-A-K9
C881W-P-K9
C881-V-K9

サポートされるルータ

Cisco 887 シリーズ

C887VA-V-K9

C887VA-W-A-K9

C887VAG-S-K9

Cisco 888 シリーズ

CISCO888-K9

CISCO888-SEC-K9

CISCO888W-GN-E-K9

CISCO888E-K9

CISCO888EW-GNE-K9

C888EA-K9

C888SRST-K9

C888ESRST-K9

C888ESRSTW-GNA-K9

C888ESRSTW-GNE-K9

Cisco 891 シリーズ

CISCO891W-AGN-A-K9

CISCO891W-AGN-C-K9

CISCO891W-AGN-N-K9

Cisco 892 シリーズ

CISCO892J-K9

CISCO892FW-A-K9

CISCO892W-AGN-P-K9

Cisco 1902

CISCO1902/K9

Cisco 1905

Cisco1905/K9

Cisco 1921

Cisco1921/K9

Cisco 1921DC/K9

Cisco 1941

Cisco 1941/K9

Cisco1941W-A/K9

Cisco1941W-E/K9

Cisco1941W-P/K9

Cisco1941W-N/K9

Cisco1941W-C/K9

サポートされる HWIC カード

表 4 に、Cisco CP Express がサポートする HWIC カードを示します。

表 4 サポートされる HWIC カード

HWIC カード
EHWIC-VA-DSL-A
HWIC-4SHDSL
EHWIC-VA-DSL-M
HWIC-2SHDSL

サポートされるブラウザ

Cisco CP Express は次のブラウザでサポートされます。

- Mozilla Firefox 10 以降
- Google Chrome 17 以降



CHAPTER 2

Cisco CP Express Admin View のインストールおよびセットアップ

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「Cisco CP Express Admin View のダウンロード」 (P.2-1)
- 「Cisco CP Express Admin View のインストール」 (P.2-2)
- 「Cisco CP Express Admin View の使用」 (P.2-4)

Cisco CP Express Admin View のダウンロード

Cisco CP Express Admin View をダウンロードするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ブラウザを起動し、
<http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=281795035&flowid=5160&softwareid=282159854&release=2.7&relind=AVAILABLE&rellifecycle=&reltype=latest> にアクセスします。
- ステップ 2** ログイン ページが表示されたら、クレデンシャルを入力し、[ログイン (Log In)] をクリックします。クレデンシャルがない場合は、登録してクレデンシャルを取得します。(ページの上部にある) [登録 (Register)] をクリックし、登録プロセスを完了して、このページに戻ります。
[ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] ページが表示されます。
- ステップ 3** [ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] ページで、ダウンロードするリリースを選択します。
- ステップ 4** [Cisco CP Express 2.7] パッケージリンクを選択し、[ダウンロード (Download)] をクリックして、圧縮ファイル *ccpexpress27Bundle.zip* をシステムにダウンロードします。
この圧縮ファイルには、Cisco CP Express Admin View のインストール ファイルが含まれています。

Cisco CP Express Admin View のインストール

Cisco CP Express Admin View をルータのフラッシュ メモリにインストールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 圧縮ファイル *ccpexpress27Bundle.zip* を <http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=281795035&flowid=5160&softwareid=282159854&release=2.7&relind=AVAILABLE&rellifecycle=&reltype=latest> からダウンロードします。
- ステップ 2** 圧縮ファイル *ccpexpress27Bundle.zip* をシステムに解凍します。
ccpexpress27Bundle.zip ファイルには、*ccpexpress27.tar*、*ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz* ファイルと *home.shtml* ファイルが含まれています。
- ステップ 3** FTP または TFTP サーバを使用して、解凍したファイルをルータのフラッシュ メモリにコピーします。
- ```
router> enable
Password: password
router# copy tftp: flash
```
- ステップ 4** この例に示すように、FTP または TFTP サーバの IP アドレスを指定します。
- ```
Address or name of remote host []? <xxx.xxx.xxx.xxx>
xxx.xxx.xxx.xxx は FTP または TFTP サーバの IP アドレスです。
```
- ステップ 5** この例に示すように、ルータのフラッシュ メモリにコピーするソース ファイルの名前を指定します。
- ```
Source filename []? ccpexpress27.tar
```
- ステップ 6** この例に示すように、コピー先ファイルの名前を指定します。
- ```
Destination file name []? ccpexpress27.tar
```
- ステップ 7** この例に示すように、*home.shtml* ファイルをルータのフラッシュ メモリに解凍します。
- ```
router# copy tftp: flash
```
- ステップ 8** この例に示すように、ルータのフラッシュ メモリにコピーするソース ファイルの名前を指定します。
- ```
Source filename []? home.shtml
```
- ステップ 9** この例に示すように、コピー先ファイルの名前を指定します。
- ```
Destination file name []? home.shtml
```
- ステップ 10** この例に示すように、*ccpexpress27.tar* ファイルをルータのフラッシュ メモリに解凍します。
- ```
router# archive tar /xtract flash:ccpexpress27.tar flash:/ccpexpress
```

ステップ 11 ルータがワイヤレス設定をサポートしている場合、次のように設定します。

- a. この例に示すように、ルータの WAP に telnet します。

```
ap#> enable
Password: password
```

- b. この例に示すように、`ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz` ファイルがすでにワイヤレス フラッシュ メモリの「ap-801-」または「ap802-」フォルダに存在していることを確認します。

```
ap# cd ap802-xxxxx-xx.xxx-xxx.xxx/html/level/15/
ap# dir
```



- (注) デフォルトでは、`ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz` ファイルは一部のバージョンの IOS AP で使用できます。

- c. `ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz` ファイルがワイヤレス フラッシュ メモリにない場合、**ステップ d**に進みます。ファイルがある場合は、**ステップ 12**に進みます。

- d. この例に示すように、`ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz` ファイルをワイヤレス フラッシュ にコピーします。

```
ap# copy tftp: flash
```



- (注) `ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz` ファイルをプレフィックス「ap-801-」または「ap802-」で始まる名前のフォルダにコピーし、このフォルダの下に `html/level/15/` サブディレクトリがあることを確認します。

- e. この例に示すように、FTP または TFTP サーバの IP アドレスを指定します。

```
Address or name of remote host []? <xxx.xxx.xxx.xxx>
```

`xxx.xxx.xxx.xxx` は FTP または TFTP サーバの IP アドレスです。

- f. この例に示すように、ルータのフラッシュ メモリにコピーするソース ファイルの名前を指定します。

```
Source filename []? ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz
```

- g. この例に示すように、コピー先ファイルの名前を指定します。

```
Destination file name []? ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz
```

ステップ 12 インストールが完了したら、この例に示すように、`ccpexpress27.tar` ファイルをルータのフラッシュ メモリから削除します。

```
router# delete flash:ccpexpress27.tar? [confirm]
```

ステップ 13 Return を押して削除を確認します。

Cisco CP Express Admin View の使用

この項では、次の内容について説明します。

- 「前提条件」(P.2-4)
- 「HTTP サーバまたはセキュア サーバのイネーブル化」(P.2-4)
- 「Cisco CP Express Admin View の起動」(P.2-5)

前提条件

Cisco CP Express Admin View を起動する前に、サービス プロバイダーから次の情報を収集します。

1. 非対称デジタル加入者線 (ADSL) をワイドエリア ネットワーク (WAN) として使用する場
合、仮想チャネル識別子 (VCI) および仮想パス識別子 (VPI) の値
2. ADSL を WAN として使用する場
合、パスワード認証プロトコル (PAP) またはチャレンジ ハ
ンドシェイク認証プロトコル (CHAP) にアクセスするためのユーザ名とパスワード
3. (オプション) プライマリおよびセカンダリ DNS IP アドレス
4. IP サブネット
5. DHCP プール ネットワーク

HTTP サーバまたはセキュア サーバのイネーブル化

Cisco CP Express は、次の 2 つのモードのいずれかでアクセスできます。

- セキュア モード : HTTPS を使用し、HTTP セキュア サーバをルータ上でイネーブルにする必要が
あります。
- 非セキュア モード : HTTP を使用し、HTTP サーバをルータ上でイネーブルにする必要がありま
す。



(注)

デフォルトでは、HTTP サーバおよびセキュア サーバは、工場出荷状態のルータでイネーブルになっ
ています。

Cisco CP Express を起動する前に、HTTP または HTTPS をイネーブルにする必要があります。

http サービスへのログインは、ルータ上のローカル データベースに行う必要があります。これは、
Cisco CP Express End User View がルータ上でローカルに設定されているためです。

1. ルータを http サーバとして設定するには、次のコマンドを実行します。

```
router(config)# ip http server
```

2. ルータを https サーバとして設定するには、次のコマンドを実行します。

```
router(config)# ip http secure-server
```

Cisco CP Express Admin View の起動

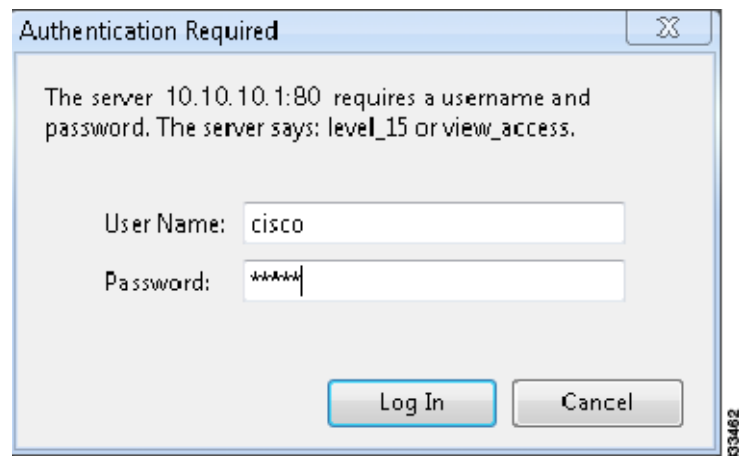
前提条件

Cisco CP Express Admin View の起動に進む前に、『*Cisco CP Quick Start Guide*』に記載されている作業 2 ～ 4 を完了する必要があります。

手順

Cisco CP Express Admin View を起動するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ブラウザを起動します。
- ステップ 2** アドレス バーに、Cisco CP Express Admin View がインストールされているルータの IP アドレスを入力します。
たとえば、*http://10.10.10.1* または *https://10.10.10.1* と入力します。
- ステップ 3** ルータのユーザ名とパスワードを指定します。



初めてルータを使用する場合、ルータに設定されたワンタイム ユーザ名およびパスワード（デフォルトでは *cisco/cisco*）を使用します。

ステップ 4 [ログイン (Log In)] をクリックします。
Cisco CP Express Admin View が起動し、使用できるようになります。

図 1 に、[Cisco CP Express Admin View] ページを示します。

図 1 [Cisco CP Express Admin View] ページ





CHAPTER 3

Cisco CP Express Admin View の使用

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「Cisco CP Express ビデオへのアクセス」(P.3-1)
- 「ワイヤレス インターフェイスへのアクセス」(P.3-1)

Cisco CP Express ビデオへのアクセス

Cisco CP Express ビデオは、
http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/cisco_configuration_professional_express/v2_7/guides/adminguide/CCPEXpress.html からアクセスできます。

ワイヤレス インターフェイスへのアクセス

Cisco CP Express のワイヤレス機能にアクセスするには、[ワイヤレス (Wireless)] リンクを選択します。

Cisco CP Express Admin View は、ciphers aes-ccm tkip 暗号化モードを使用する Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2) 暗号化をサポートします。

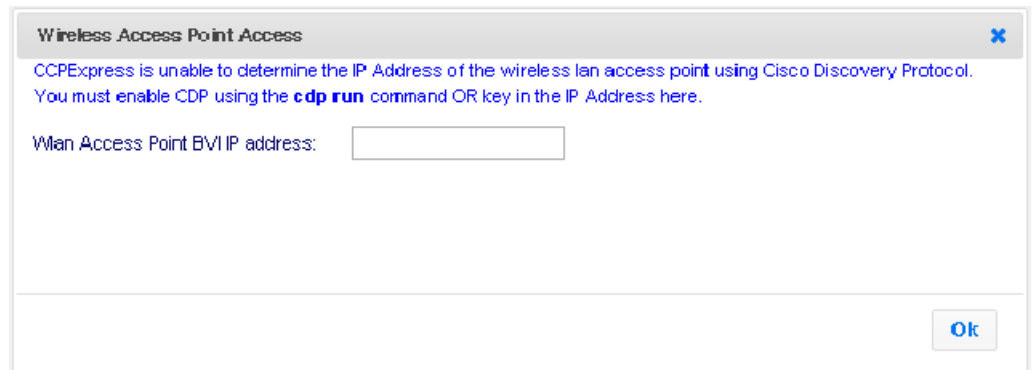


(注) ワイヤレス機能が Cisco CP Express に表示されるのは、ルータが WAP をサポートしている場合だけです。

WAP 設定に応じて、ワイヤレス機能の動作方法が異なる場合があります。次の場合に異なることがあります。

1. **ワイヤレス機能への初回アクセス**：次の 2 つの条件のいずれかが true の場合、[ワイヤレス (Wireless)] リンクをクリックすると、ユーザ名とパスワードを要求せずに自動的にワイヤレス インターフェイスとの接続の確立が試行されます。
 - ルータが工場出荷状態のルータである。
 - WAP の工場出荷時のデフォルト ユーザ名およびパスワードが変更されていない。
ワイヤレス ルータの工場出荷時のデフォルト ユーザ名/パスワードは *cisco/cisco* です。
2. **WAP のパスワードが変更されている**：工場出荷時のデフォルト ユーザ名/パスワード (*cisco/cisco*) が変更されている場合、WAP のユーザ名とパスワードを指定するよう求められます。
3. **Cisco Discovery Protocol (CDP) がルータ上でディセーブルになっている**：Cisco CP Express は WAP の IP アドレスを検出できません。次の指定を行うよう求められます。

- 使用する WAP の IP アドレス
- WAP のユーザ名とパスワード



IP アドレスを確認するには、WAP の CDP をイネーブルにする必要があります。

- CDP をイネーブルにするには、次のコマンドを実行します。

```
ap# cdp run
```
- インターフェイス上で CDP をイネーブルにするには、次のコマンドを実行します。

```
ap# cdp enable
```
- WAP の IP アドレスを検出するには、次のコマンドを実行します。

```
ap# show cdp neighbors [detail]
```

4. Cisco Discovery Protocol (CDP) はイネーブルであるが、WAP のユーザ名とパスワードが変更されている

- Mozilla Firefox ブラウザを使用している場合、WAP のユーザ名とパスワードを指定するよう求められます。
- Google Chrome ブラウザを使用している場合、「401 Unauthorized」エラーが発生します。

401 Unauthorized エラーの処理

- [ここをクリックすると、新しいブラウザ タブ リンクにワイヤレス画面が表示されます (Click here to open the wireless screen in a new browser tab link)] を選択して、新しいブラウザ タブでワイヤレス機能を開きます。
- WAP のユーザ名とパスワードを指定します。



(注) WAP が検出されると、Cisco CP Express は自動的に `cdp run` コマンドをオンにします。CDP run コマンドをオフにするには、次の手順を実行します。

- 1) [CLI の設定 (Configure CLI)] ページから、[設定 (Configure)] モードを選択します。
- 2) 入力エリアに `no cdp run` と入力します。
- 3) [コマンドの実行 (Run Command)] をクリックします。



CHAPTER 4

Cisco CP Express End User View のインストールおよびセットアップ

管理者は Cisco CP Express End User View をインストールおよびセットアップし、ユーザがこのインターフェイスを使用して特定の作業を実行できるようにすることができます。この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「Cisco CP Express End User View のダウンロード」 (P.4-1)
- 「ロゴのカスタマイズ (オプション)」 (P.4-2)
- 「Cisco CP Express End User View のインストール」 (P.4-2)
- 「Cisco CP Express End User View のワイヤレス アクセスのセットアップ」 (P.4-4)
- 「Cisco CP Express End User View の作成」 (P.4-4)
- 「Cisco CP Express End User View の削除」 (P.4-5)


Cisco CP Express End User View のダウンロード

Cisco CP Express End User View をダウンロードするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ブラウザを起動し、
<http://www.cisco.com/cisco/software/release.html?mdfid=281795035&flowid=5160&softwareid=282159854&release=2.7&relind=AVAILABLE&rellifecycle=&reltype=latest> にアクセスします。
- ステップ 2** ログイン ページが表示されたら、クレデンシャルを入力し、[ログイン (Log In)] をクリックします。クレデンシャルがない場合は、登録してクレデンシャルを取得する必要があります。(ページの上部にある) [登録 (Register)] をクリックし、登録プロセスを完了して、このページに戻ります。[ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] ページが表示されます。
- ステップ 3** [ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] ページで、ダウンロードするリリースを選択します。
- ステップ 4** [Cisco CP Express 2.7] パッケージ リンクを選択し、[ダウンロード (Download)] をクリックして、圧縮ファイル *ccpexpressenduser27Bundle.zip* をシステムにダウンロードします。
この圧縮ファイルには、Cisco CP Express End User View のインストール ファイルが含まれています。

ログのカスタマイズ (オプション)

Cisco CP Express End User View の右上隅にある Cisco ログをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** *ccpexpressenduser27Bundle.zip* ファイルをシステムに解凍します。
ccpexpressenduser27Bundle.zip ファイルには、*ccpexpressEndUser27.tar* ファイルと *ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz* ファイルが含まれています。
- ステップ 2** WinZip、7-Zip などのファイル解凍ユーティリティを使用して *ccpexpressEndUser27.tar* ファイルを開きます。
- ステップ 3** *ccpexpressEndUser27.tar\ccpexpressEndUser.tar\html\images* フォルダに移動して、*logo.png* ファイルを見つけます。
- ステップ 4** *logo.png* ファイルを選択したロゴファイルに置き換えます。
-  **(注)** ログが *logo.png* ファイルとして保存され、80 x 49 ピクセル サイズに適合していることを確認します。
- ステップ 5** WinZip、7-Zip などのファイル解凍ユーティリティを使用して *ccpexpressEndUser27.tar* ファイルを再作成します。
-

Cisco CP Express End User View のインストール

はじめる前に

Cisco CP Express End User View をセットアップする前に、Cisco CP Express Admin View ファイルをすべて削除する必要があります。

手順



- (注)** Cisco CP Express End User View をインストールするには、ルータのフラッシュ メモリに 4 MB 以上の空き領域が必要です。

Cisco CP Express End User View をルータのフラッシュ メモリにインストールするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** Cisco CP Express End User View に表示されるログをカスタマイズした場合、[ステップ 5](#) で作成した *ccpexpressEndUser27.tar* ファイルを使用します。作成していない場合、*ccpexpressenduser27Bundle.zip* ファイルから解凍した *cpexpressEndUser27.tar* を使用します。
- ステップ 2** FTP または TFTP サーバを使用して、解凍したファイルをルータのフラッシュ メモリにコピーします。
- ```
router> enable
Password: password
```

```
router# copy tftp: flash
```

**ステップ 3** この例に示すように、FTP または TFTP サーバの IP アドレスを指定します。

```
Address or name of remote host []? <xxx.xxx.xxx.xxx>
xxx.xxx.xxx.xxx は FTP または TFTP サーバの IP アドレスです。
```

**ステップ 4** この例に示すように、ルータのフラッシュ メモリにコピーするソース ファイルの名前を指定します。

```
Source filename []? ccpexpressEndUser27.tar
```

**ステップ 5** この例に示すように、コピー先ファイルの名前を指定します。

```
Destination file name []? ccpexpressEndUser27.tar
```

**ステップ 6** この例に示すように、*ccpexpressEndUser27.tar* ファイルをルータのフラッシュ メモリに解凍します。

```
router# archive tar /xtract flash:ccpexpressEndUser27.tar flash:
```

**ステップ 7** ルータがワイヤレス設定をサポートしている場合、次のように設定します。

a. この例に示すように、ルータの WAP に telnet します。

```
ap#> enable
Password: password
```

b. この例に示すように、*ccpExpressEU\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルがすでにワイヤレスフラッシュ メモリの「ap-801-」または「ap802-」フォルダに存在していることを確認します。

```
ap# cd ap802-xxxxx-xx.xxx-xxx.xxx/html/level/15/
ap# dir
```



(注) デフォルトでは、*ccpExpressEU\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルは一部のバージョンの IOS AP で使用できます。

c. *ccpExpressEU\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルがワイヤレスフラッシュ メモリにない場合、**ステップ d**に進みます。ファイルがある場合は、**ステップ 8**に進みます。

d. この例に示すように、*ccpExpressEU\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルをワイヤレスフラッシュにコピーします。

```
ap# copy tftp: flash
```



(注) *ccpExpressEU\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルをプレフィックス「ap-801-」または「ap802-」で始まる名前フォルダにコピーし、このフォルダの下に *html/level/15/* サブディレクトリがあることを確認します。

e. この例に示すように、FTP または TFTP サーバの IP アドレスを指定します。

```
Address or name of remote host []? <xxx.xxx.xxx.xxx>
xxx.xxx.xxx.xxx は FTP または TFTP サーバの IP アドレスです。
```

f. この例に示すように、ルータのフラッシュにコピーするソース ファイルの名前を指定します。

```
Source filename []? ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz
```

g. この例に示すように、コピー先ファイルの名前を指定します。

```
Destination file name []? ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz
```

- ステップ 8** インストールが完了したら、この例に示すように、*ccpexpressEndUser27.tar* ファイルをルータのフラッシュメモリから削除します。

```
router# delete flash:ccpexpressEndUser27.tar? [confirm]
```

- ステップ 9** Return を押して削除を確認します。

## Cisco CP Express End User View のワイヤレス アクセスのセットアップ

Cisco CP Express End User View の WAP をセットアップする前に、次の重要ポイントに注意してください。

- ユーザが SSID を作成できるように、新しい DHCP プールを作成し、vlan 99 と関連付けます。
- ユーザのワンタイム パスワードを設定しないでください。こうすることで、ユーザが必要に応じて Cisco CP Express End User View のパスワードを変更することができないようにします。

## Cisco CP Express End User View の作成

- ステップ 1** Cisco CP Express End User View を起動します。

- ステップ 2** [CLI の設定 (Configure CLI) ] > [エンド ユーザ ビューの作成 (Create EndUser View) ] をクリックし、[エンド ユーザ ビューの作成 (Create EndUser View) ] ページを開きます。

The screenshot shows the 'Create EndUser View' configuration page. It includes the following elements:

- Navigation tabs: 'Any CLI' and 'EndUser View'.
- Section header: 'Create EndUser View'.
- Fields: 'EndUser Username: end\_user' and 'EndUser Password: end\_user'.
- Note: 'NOTE: The above UserName and Password has to be disclosed to the EndUser.'
- Fields: 'Enable Secret: \*\*\*\*\*' and 'Confirm Secret: \*\*\*\*\*'.
- Fields: 'Allowed Interfaces:  FastEthernet0,  FastEthernet1,  FastEthernet2,  FastEthernet3'.
- Button: 'Apply'.

384040

**ステップ 3** 次のフィールドを指定します。

- [エンド ユーザのユーザ名 (EndUser UserName) ] : 作成するエンド ユーザ ビューのユーザ名。
- [エンド ユーザのパスワード (EndUser Password) ] : 作成するエンド ユーザ ビューにアクセスするためのパスワード。



**(注)** このユーザ名とパスワードは、Cisco CP Express End User View にアクセスするためにユーザが使用できるようにする必要があります。

- [イネーブル シークレット (Enable Secret) ] : 特権 exec コマンドへのアクセスを保護するために使用する enable secret パスワード。
- [シークレットの確認 (Confirm Secret) ] : enable secret パスワード。

**ステップ 4** ユーザがアクセスする必要があるインターフェイスを選択します。  
ユーザは vlan をこれらのインターフェイスに関連付けることができます。

**ステップ 5** [適用 (Apply) ] をクリックし、エンド ユーザ ビューを作成します。

## Cisco CP Express End User View の削除

**ステップ 1** Cisco CP Express End User View を起動します。

**ステップ 2** [CLI の設定 (Configure CLI) ] > [エンド ユーザ ビューの作成 (Create EndUser View) ] をクリックし、作成したエンド ユーザ ビューを表示します。

**ステップ 3** [ビューの削除 (Delete View) ] をクリックして、エンド ユーザ ビューを削除します。







## CHAPTER 5

# Cisco CP Express Admin View のアンインストールおよびアップグレード

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「Cisco CP Express Admin View のアンインストール」 (P.5-1)
- 「Cisco CP Express Admin View の新バージョンへのアップグレード」 (P.5-2)
- 「失われたファイルまたは誤配置されたファイルの取得」 (P.5-2)

## Cisco CP Express Admin View のアンインストール

Cisco CP Express Admin View をルータのフラッシュ メモリからアンインストールするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** ルータ上で、次のコマンドを使用して Cisco CP Express Admin View ファイルがあるディレクトリに移動します。

```
router# cd flash:
```

**ステップ 2** delete コマンドを使用して、ルータのフラッシュ メモリから Cisco CP Express Admin View のすべてのファイルおよびフォルダを削除します。



**(注)** *ccpexpress* フォルダおよび *ccpExpress\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルと *home.shtml* ファイルを必ず削除してください。

**a.** *ccpexpress* フォルダを削除します。

```
router# delete /force /recursive flash:ccpexpress
```

**b.** WAP のフラッシュ メモリの *ap802-xxxxx-xx.xxx-xxx.xxx/html/level/15/* フォルダから *ccpExpress\_ap\_express-security.shtml.gz* ファイルを削除します。

```
ap# delete
flash:/ap802-ccw7-mx.124-25d.JAX/html/level/15/ccpExpress_ap_express-security.shtml.gz
```

# Cisco CP Express Admin View の新バージョンへのアップグレード

Cisco CP Express Admin View の新しいバージョンがある場合、次の手順を実行して新しいバージョンにアップグレードします。

- 
- ステップ 1 「[Cisco CP Express Admin View のアンインストール](#)」 (P.5-1) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express Admin View の既存バージョンをアンインストールします。
  - ステップ 2 「[Cisco CP Express Admin View のダウンロード](#)」 (P.2-1) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express Admin View のインストール ファイルをダウンロードします。
  - ステップ 3 「[Cisco CP Express Admin View のインストール](#)」 (P.2-2) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express Admin View をインストールします。
- 

## 失われたファイルまたは誤配置されたファイルの取得



### 注意

---

Cisco CP Express Admin View ファイルを扱う際は注意してください。

---

これらのファイルのいずれかを誤って削除した場合、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 ルータのフラッシュ メモリから、*ccpexpress27Bundle.zip* ファイルから解凍したファイルを削除します。詳細については、「[Cisco CP Express Admin View のアンインストール](#)」 (P.5-1) を参照してください。
  - ステップ 2 [Cisco CP Express Admin View のダウンロード](#)に記載されている手順に従い、ファイルをダウンロードします。
  - ステップ 3 ルータのフラッシュ メモリにファイルをコピーし、「[Cisco CP Express Admin View のインストール](#)」 (P.2-2) に記載されている手順に従い、Admin View ファイルを解凍し、インストールします。
-



## CHAPTER 6

# Cisco CP Express End User View のアンインストールおよびアップグレード

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「Cisco CP Express End User View のアンインストール」 (P.6-1)
- 「Cisco CP Express End User View の新バージョンへのアップグレード」 (P.6-2)
- 「失われたファイルまたは誤配置されたファイルの取得」 (P.6-2)

## Cisco CP Express End User View のアンインストール

Cisco CP Express End User View をルータのフラッシュ メモリからアンインストールするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ルータ上で、次のコマンドを使用して Cisco CP Express End User View ファイルがあるディレクトリに変更します。
- ```
router# cd flash:
```
- ステップ 2** `delete` コマンドを使用して、ルータのフラッシュ メモリから Cisco CP Express End User View のすべてのファイルおよびフォルダを削除します。



(注) `ccexpressEndUser27.tar` ファイルおよび `ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz` ファイルから解凍されたすべてのファイルを削除してください。

- a. `ccpexpressenduser.tar` ファイルを削除します。

```
router# delete /force /recursive ccpexpressEndUser.tar
```

- b. `ccpexpressenduser` ファイルを削除します。

```
router# delete /force /recursive ccpexpressEndUser
```

- c. WAP のフラッシュ メモリの `ap802-xxxxx-xx.xxx-xxx.xxx/html/level/15/` フォルダから `ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz` ファイルを削除します。

```
ap# delete
flash:/ap802-ccw7-mx.124-25d.JAX/html/level/15/ccpExpressEU_ap_express-security.shtml.gz
```

Cisco CP Express End User View の新バージョンへのアップグレード

Cisco CP Express End User View の新しいバージョンがある場合、次の手順を実行してアップグレードします。

- ステップ 1** 「[Cisco CP Express End User View のアンインストール](#)」(P.6-1) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express End User View の既存バージョンをアンインストールします。
- ステップ 2** 「[Cisco CP Express End User View のダウンロード](#)」(P.4-1) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express End User View のインストール ファイルをダウンロードします。
- ステップ 3** 「[Cisco CP Express End User View のインストール](#)」(P.4-2) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express End User View をインストールし、起動します。

失われたファイルまたは誤配置されたファイルの取得



注意

Cisco CP Express End User View ファイルを扱う際は注意してください。

これらのファイルのいずれかを誤って削除した場合、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ルータのフラッシュ メモリから、`ccpexpressenduser27Bundle.zip` ファイルから解凍したファイルを削除します。詳細については、「[Cisco CP Express End User View のアンインストール](#)」(P.6-1) を参照してください。
- ステップ 2** [Cisco CP Express End User View のダウンロード](#)に記載されている手順に従い、Cisco CP Express End User View のインストール ファイルをダウンロードします。
- ステップ 3** ルータのフラッシュ メモリにファイルをコピーし、「[Cisco CP Express End User View のインストール](#)」(P.4-2) に記載されている手順に従い、Cisco CP Express End User View ファイルを解凍し、インストールします。



CHAPTER 7

既知の問題と回避策

ここでは、Cisco CP Express Release 2.7 の既知の問題を示します。

表 1 Cisco CP Express の未解決の警告リスト

バグ ID	説明
CSCtz82923	<p>設定済みパラメータが編集画面に反映されない。</p> <p>症状 [要約 (Summary)] 画面に表示される属性の正しい値が、インターフェイス画面の [VLAN の編集とインターフェイスの編集 (エンド ユーザ ビューの VLAN の編集) (edit VLAN and edit Interface (edit VLAN for End User view))] ダイアログボックスに反映されません。</p> <p>条件 インターフェイス機能が使用されているか、または VLAN が編集中の場合。</p> <p>対応策 Cisco IOS ソフトウェア リリースを 15.2(4)M 以降にアップグレードします。</p>
CSCua25946	<p>Google Chrome を使用している MAC 環境で、ダッシュボードの垂直スクロール バーが正しく機能しない。</p> <p>症状 ダッシュボード画面がフリーズします。</p> <p>条件 MAC では、Google Chrome ブラウザはサイズ変更され、そのため水平スクロール バーが表示されます。</p> <p>対応策 ブラウザをリロードし、そのまま Cisco CP Express を使用します。</p>

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>